

第26回スーパージョイントカップヨットレース（2017年）

帆走指示書（S I）

1、適用規則

- 1.1 本レースは「セーリング競技規則 2017-2020（RRS）」に定義された規則を適用する。
- 1.2 本レースにおいて適用する全ての規則において、次のとおりとする。
- 1.3.1 [DP] は、プロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定する規則を意味する。
- 1.3.2 [SP] は、レース委員会が審問なしに標準ペナルティーを適用することができる規則を意味する。
- 1.3.3 [NP] は、この規則の違反艇は、艇による抗議の対象とならないことを意味する。

2、競技者への通告

競技者への通告は、OHYC と KYC に設置された公式掲示板に掲示することで行う。

3、帆走指示書の変更

SI の変更は、次のいずれかによるものとする。

- 3.1 開催日の09:00までに、OHYC のホームページまたは公式掲示板への掲示。
- 3.2 これはRRS 90.2（c）を変更している。

4、陸上で発する信号

- 4.1 陸上で発する信号は、出艇申告受付開始前から抗議受付締切時刻までの間、両クラブが指定するポールに掲揚される。
- 4.2 AP 旗が音響2声と共に掲揚された時は（降下の時は音響1声）、「レースは延期された。予告信号はAP 旗の降下後30分以後に発せられる」ことを意味する。これはレース信号、AP 旗を変更している。

5、日程

- 5.1 各クラス共に1レースを予定する。

11月12日（日）	8:30~9:00 (KYC は 9:00~KYC2F にて)	大会受付、出艇申告
	9:00~ (KYC は 9:20~KYC2F にて)	艇長会議
	10:55	予告信号
	13:30	タイムリミット

レース終了次第（公式掲示板に掲示する） アフターパーティー・表彰式

- 5.2 参加艇は、参加申込をなしたクラブにおいて大会受付、出艇申告、艇長会議の手續するものとする。

6、クラス

- 6.1 クラスは次のとおりとする。なお、全長はLOAではなく、カタログ上の区分値を用いる。

Aクラス	全長33フィート以上の艇
Bクラス	全長33フィート未満の艇
- 6.2 クラス旗は、各クラス共通でOHYCクラブ旗を用いる

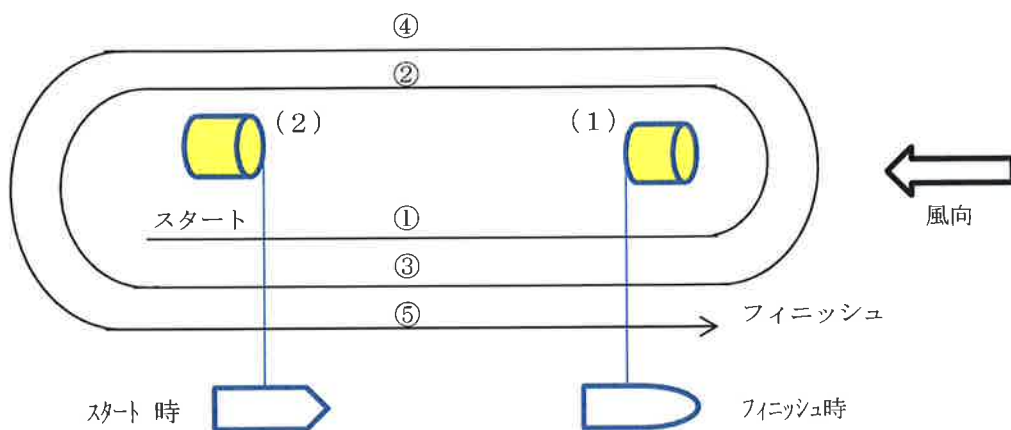
7、レースエリア

大阪湾西宮一文字防波堤沖

8、コース

風上・風下での周回コースでの5レグとする。

以下は回航すべきマークの順序、及び各マークの通過する側を示す。



9、マーク

各マークは、黄色の立方体（又は円柱形）ブイを使用する。

10、コミッティーボート

運営艇として、OHYC「たけなわ艇」を使用する。

11、スタート

11.1 レースは、RRS 26 に従ってスタートする。

信号	旗と音響	スタート信号までの時間
予告	クラス旗を掲揚・ 音響1声	5分
準備	P旗、他を掲揚・ 音響1声	4分
1分前	P旗、他を降下・ 長音1声	1分
スタート	クラス旗を降下・ 音響1声	0分

11.2 スタートラインは、運営艇の OHYC 旗（青色三角形）（オレンジ旗に代わるものとする）を揚げたポールとアウトサイドリミットマーク（黄色）との間とする。

11.3 スタート信号後の4分以降にスタートする艇は、「スタートしなかった」と記録される。これは RRS A4 を変更している。

12、[NP] 個別リコール

スタート信号時に、艇が RRS 29.1（個別リコール）に従わねばならない場合、運営艇は、音響1声と共に、X旗を掲揚し、VHFチャンネル72で、その艇のセール番号、艇名を送信するように努めるものとする。但し、送信できなかつたり、送信の時期が適切でなかつたり、または聴取できなかつたりとしても、救済要求の根拠にはならないものとする。

これは RRS 6 2.1 を変更している。

13、ゼネラルリコール

ゼネラルリコールは、RRS 29.2により信号を発する

13.1 運営艇は、音響2声と共に第一代表旗を掲揚する。

13.2 運営艇は、音響1声と共に第一代表旗降下した1分後に、再スタートの予告信号を発する。

14、コース短縮

14.1 レース委員会は、コースの短縮を行うことがある。

14.2 この場合、S旗を掲揚した運営艇のポールと直近のブイの間をフィニッシュラインとする。

15、一時的なエンジンの使用

- 15.1 艇は、次の条件で、そのレースで著しく有利とならない場合には、エンジンまたは他の方法で推進することができる。
 - 15.1.1 コース上の障害（灯標、灯浮標等）または船舶、艇との衝突を緊急に防止する場合
 - 15.1.2 無風、または強潮を含む極端な天候から避難する場合
- 15.2 艇がエンジン又は他の方法を使用した場合、使用開始時刻及び停止時刻（又は稼働時間）、及び使用状況（使用を開始した時点での概位、航走方位、マイル数等）を記録した申告書を、抗議締切時刻までにレース本部に提出しなければならない。
- 15.3 [DP] 申告に基づき、適当と判断されるペナルティーを課すことがある。

16、フィニッシュ

フィニッシュラインは、運営艇の OHYC 旗（青色三角形）を掲揚したポールとフィニッシュマーク（黄色）との間とする。

17、タイムリミット

タイムリミットは13：30とする。この時刻までにフィニッシュしなかった艇は、レースにフィニッシュしなかった（DNF）と記録される。これは RRS 35 及び A4 を変更している。

18、[DP] [NP] 出艇申告及び帰着申告、リタイア

- 18.1 出艇申告は、参加申込をなしたクラブの、レース本部（OHYC）又は事務局（KYC）に用意された申告書への代表者の署名をもって行うものとする。
- 18.2 出艇申告は、SI 5「日程」の指示時間内に申告しなければならない。
- 18.3 帰着申告は、レースのフィニッシュをもって申告とする。改めての届出は不要とする。尚、GPS 端末、ゼッケン等を貸与している場合には、レース本部（OHYC）に返却すること。
- 18.4 レースからリタイアした艇は、速やかにレース本部（OHYC）に報告しなければならない。

19、ペナルティー

- 19.1 RRS 第2章に関わる規則違反については、RRS 44.2「2回転ペナルティー」を適用する。
- 19.2 [DP] RRS 第2章以外の規則違反については、失格又は適当と判断されるペナルティーを課すことがある。

20、抗議

- 20.1 抗議書は、レース本部（OHYC）で入手できる。抗議、救済要求および審問の再開の要求は、その日のレースの終了後60分以内にレース本部（OHYC）に提出されなければならない。
- 20.2 抗議締切時刻は、公式掲示板に掲示される。
- 20.3 抗議の通告は、審問の場所及び時間、抗議の当事者、又は証人として指名された者を競技者に知らせるため、抗議受付締切時刻後30分以内に、公式掲示板に掲示される。
- 20.4 レース委員会、プロテスト委員会またはテクニカル委員会による抗議は、規則61.1[b]に基づき伝えるために公式掲示板に掲示する。
- 20.5 抗議は、出来るだけ早く、ほぼ受付順に審問される。
- 20.6 [DP] [NP] SI 18「出艇申告および帰着申告」、22「安全規程」、23「無線の使用」の違反は、艇による抗議の根拠とはならない。この項は RRS 60.1(a)を変更している。これらの違反に対するペナルティーは、失格より軽減することができる。

2 1、順位および時間修正システム

2 1. 1 順位は、レースの所要時間（秒）にレース委員会が決定したハンディキャップ（TCF）を乗じた修正所要時間による。尚、参加各艇のTCF値は各レース前に別途定める。

修正時間（秒）＝ 所要時間（秒）×TCF（値）

2 1. 2 修正時間が同一の場合には、TCF値の小さい艇を上位とする。

2 2、[DP] [NP] 安全規定

2 3. 1 本大会においては、Y旗の掲揚の有無を問わず、陸上又は栈橋を離れて、海上に居る間は常に救命胴衣を着用するものとする。これはRRS40を変更している。

2 3. 2 個人用浮力用具、救命胴衣等は、全ての着衣の上に装着すること。

2 3. 3 レースからリタイアした艇は、出来るだけ早くレースコミッティーに申し出ること。

2 3. 4 レース委員会又はプロテスト委員会がこれに違反している艇を目撃した場合には、警告を発する場合がある。

2 3、[DP] [NP] 無線の使用

2 3. 1 本大会の参加艇は、レース海域で使用可能な携帯電話を2台以上携帯すること

2 3. 2 レース委員会は、出艇申告受付時にGPS端末を艇に搭載することを求める場合がある。
この場合、艇は搭載を拒否できないものとする。

2 3. 3. 1 レース委員会は、VHF72チャンネルにより、レース参加艇にリコール等のレースに関するアナウンスを行うように努める。

2 3. 3. 2 レース参加艇は、緊急の場合を除き、本大会参加中にVHF72チャンネルでの無線送信をしてはならない

2 3. 4 この項に定める以外の通信形態、情報ソースは何ら制限しない。これらはRRS41の「外部の援助」に該当しないものとする。

2 4、賞

2 4. 1 各クラス1～3位にカップを授与する。

2 4. 2 両クラスを通じた総合1位にスーパージョイントカップを授与する。但し持ち回りとする。

2 5、責任の否定

この大会の競技者は自分自身の責任で参加する。RRS4 [レースをすることの決定] 参照。
主催団体は、この大会の前後、期間中に生じた物理的損傷または身体傷害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

2 6、レース本部・緊急連絡先

2 6. 1 この大会のレース本部等は、大阪北港マリーナ内メルボルンハウス内に置く。

緊急連絡先 宇都宮則夫 090-5464-2423 レース委員長
藤本増夫 090-3166-8993 事務局

2 6. 2 関西ヨットクラブの事務局はレース本部の業務を代行する。

0798-26-0691

以上

平成29年11月12日

関西ヨットクラブの皆様

第26回スーパージョイントカップの開催に際して

大阪北港ヨットクラブ

会長 宇都宮則夫

皆さん、おはようございます。

第26回スーパージョイントカップにご参加いただきありがとうございます。

今年は弊クラブが担当となりますので、簡単に注意事項等を連絡させていただきます。

1、レースは10:55を予告信号と予定しております。

レース風上風下での5レグでの1本を予定しております。

弊クラブでも新たな体制で、JSAFの求める運営に向けて努力しておりますが、KYC様の運営とは、まだまだ差があり、至らぬ点があるかとも思いますが、宜しくご対応ください。

懇親を深める大会ですので、帆走指示書には特別な規程は含んでいないつもりです。

安全第一で楽しんでいただければと願っております。

また、別紙に本大会における各艇のTCF値を纏めておりますので、ご確認ください。

2、今年のご参加の皆様にはレース後は大阪北港マリーナにお越しいただくこととなります。

OHYCでは、パーティーとして焼肉を予定しております。

開始時刻は15:30からを予定しております。少し早いかもしれませんが、真夏と違い、5時を過ぎると暗くなってきますので、この時刻に設定いたしました。

限られた時間ではありますが、是非お越しくください。

開催場所は、弊クラブハウスの横となります。(ヘミングウェイではありません)

(天候にもよりますが、パーティーが遅くならないよう、レース運営を調整いたします。)

3、大阪北港マリーナにお越しの際の注意事項

①海路でお越しの場合には、潮汐にはご注意ください。

特にAクラスの艇におかれては、西側の入口ではなく、舞洲側の南側から入出港ください。

低潮時には海底につかえることもありますので、ご注意ください。

②海路、陸路のいずれでお越しの場合でも、ヘミングウェイ1階のマリーナ事務所に来訪の旨をお届けください。大阪北港マリーナでは入場に専用カードが必要です。

予めご来訪を届けておきますので、カードを借り受けられて、ゲートからご入場ください。

お帰りの際には、事務所にカードをご返却ください。

(海路からお越しの艇の皆様がお帰り際には、弊クラブ役員に御声掛けください。)

4、その他

緊急連絡先 宇都宮 090-5464-2423

藤本 090-3166-8993

では、今日一日楽しく過ごしていただくことを願っております。

以上

第26回 スーパージョイントカップ TCF表

2017.11.7 OHYC レース委員会

クラス	No.	艇名	オーナー	所属	セーブルNo	艇種	全長(尺)	乗員(大人)	TCF
A	1	WIND SAILOR	己斐健一	KYC	6560	COREL45	45		0.94
A	2	UMADORI 6	上園健二	KYC	6126	A40	40		0.90
A	3	KINE KINE X4	小林広典	KYC	6833	X4	41		0.90
A	4	DIG FIELD MILLION	堀田繁光	KYC	5454	ROSS35	35		0.87
A	5	KYE WEST	川端安彦	KYC	6660	FARR34	34		0.89
A	6	OTENTOSUN	上村嗣雄	KYC	2323	横山36	36		0.85
A	7	Kaula	川谷芳郎	KYC	6822	デヘラー34	34	5	0.80
A	8	有朋丸	中村 淳	KYC	6349	FIRST34.7	33		0.85
A	9	Constanze	中村勇人	OHYC	6323	X-35	35		0.87
A	10	Calipuso	村木国夫	OHYC	6573	J-105	34	4	0.84

B	1	AMANDA	安藤 慎	KYC	126	MELGES24	24		0.82
B	2	Clariforte	中野 誠	KYC	6595	ヤマハ31フェスタ	31		0.81
B	3	BELLEZZA	平山・瀬戸口	KYC	5103	EUREKA31	31		0.79
B	4	OPUA	尾川明身	OHYC	—	ヨコヤマ30	30	8	0.73
B	5	SUN LUCK	杉山紘司	OHYC	4979	VITE31	31	4	0.84
B	6	North Leaf Mountain	黒川英治	OHYC	—	NISSAN30	30	4	0.69
B	7	Early Bird	近藤 勉	OHYC	5861	シーム31	31		0.83
B	8	Amalfi	山下正美	OHYC	—	ヤマハ31S	31		0.80

